

# 子供たちの規範意識や自尊感情が低い傾向、道徳時間の充実を！

●平成26年9月議会

**質問** 昨年度の全国学力学習状況調査の結果では、規範意識や自尊感情等の項目が、全国平均に比べ枚方市は低い傾向にある。道徳で「規範意識」「思いやり親切」「生命尊重」や「努力忍耐」等を学ぶことが重要である。また道徳で、歴史上の偉人や世界で著名な日本人を学ぶことは、学習意欲の向上につながると思うが、偉人伝について見解を問う。



**答 弁** 偉人や世界で著名な日本人を学ぶ取組は、学習意欲を高め、豊かな心を育むことにつながる。今後とも「私たちが道徳」「二宮金次郎や野口英世、高橋尚子選手の読み物資料を掲載を活用し、道徳教育の一層の充実を図っていく。

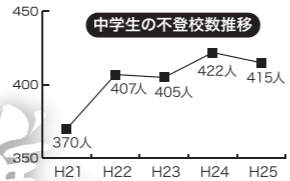
**質問** 偉人伝は、目標達成のプロセスを学ぶことにつながり、将来設計に有効である。世界から称賛される日本人は「こんなふうになりたい」「ロールモデルになり、学ぶ意欲が高まる。道徳教育についての教育長の見解を問う。

## 抜本的な不登校対策が必要

●平成26年9月議会

不登校割合が大阪府・全国の平均を上回っている

**質問** 学校基本調査の速報値(26年8月、文科省)では、全国・大阪府とも不登校児童・生徒の割合が24年度より上昇している。本市の対策はどのようなものか。



**答 弁** 適応指導教室や教育相談、また心理福祉の専門家や退職教員等を活用し、学校・教室復帰に取り組んでいる。小中学校間の段差を緩やかにする取組も行っている。

**質問** (中学校)不登校生の割合は全国2.69%、大阪府は3.22%であり、いずれも枚方市が上回っており(3.66%)中学校について、より対策が必要である。不登校にさせない、予防の取組も重要である。25年度全国学力学習状況調査において「自分には、よいところがある」「授業で自分の考えを発表する機会がよくある」等の回答が、全国平均より低い結果である。自己肯定感・有用感を高め、学校生活へ意欲喚起すれば、不登校は減るのではないか？

**答 弁** 早期対応及び未然防止が不可欠であり、欠席遅刻の目立ち始めた子供などを支援している。学習の基礎基本の定着や学習意欲の育成

◆平成25年度全国学力・学習状況調査より

小学校	●学校の決まりを守っている		
全国	39.8	50.8	8.1
枚方市	32.4	54.6	11.1
小学校	●自分にはよいところがあると思う		
全国	34.5	41.2	16.9
枚方市	31.2	41.8	18.2
中学校	●自分にはよいところがあると思う		
全国	23.4	43.0	23.8
枚方市	20.5	39.6	26.7

■当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ■どちらかといえば当てはまらない □当てはまらない

**答 弁** (教育長)枚方の子どもたちに、正義感や公正さを重んじる心、生命を大切にし人権を尊重する心、他人を思いやる心や社会貢献の精神、他者との共生や異なるものへの寛容などの感性を、育んでいきたい。そのために道徳の時間を中心とした道徳教育のさらなる充実を図っていく。

**4 岩本の考え** 「道徳がない、つまり社会において良い基準を持てなかった集団は決して長く続かない」近年、学校内のいじめ、また家庭の核家族化や地域社会の崩壊が言われますが、こうした中で道徳は、集団の規範を学ぶ第一歩です。教科化も検討され、道徳の果たす役割はますます大きくなります。人物学・偉人伝にも、より積極的に取り組むことで人格形成に大きな役目を果たせると考えます。

等、一人ひとりの子供に寄り添った取組が重要。調査結果も踏まえ、自尊感情や自己有用感を高める取組を推進していく。

**答 弁** 授業力向上の研修、「学級経営研修」や「支援教育研修」等、「子ども理解を深める研修を実施している。今後も教育課題に対応した研修を実施し、資質向上に努めていく。

**8 岩本の考え** 枚方市は「教育文化都市」を都市ブランドとして掲げています。不登校の要因を徹底的に分析し、対応する必要があります(小中連携での1ギヤブ解消など)。心理・福祉の専門家や地域人材など、人材の拡充も必要です。中核市として枚方市単独で研修ができるようになったことから、教職員研修でも、根本的な取組として対策すべきです。

**質問** 管理が不十分な空き家は老朽化による家屋倒壊や犯罪誘発、境界を越え植木が張出すなど問題となっているが、どう対応しているか？

# 生活保護制度

## 運用の適正化や無料職業紹介により自立を支援せよ！

●平成26年6月議会

**質問** 平成25年度より、生活保護の受給者で働く能力のある方に、ハローワークと連携し就労支援を行っているが、今後の連携は？

**答 弁** 早期の自立が見込まれる受給者に対し、就労自立促進事業につなげ、集中した就労支援を行なっている。今後、ハローワークと連携強化のため、就労自立促進事業の常設窓口を、福祉事務所に設置予定。常設窓口設置は、早期支援の徹底が進み、より自立促進につながる。

■平成25年度の就労支援

	参加者	就労決定
生活保護受給者等	76人	33人
就労自立促進事業		
就労支援プログラム	294人	164人

**質問** 本市の地域就労支援センターでの「地域就労支援事業」の状況と課題はどうか？

**答 弁** 就労困難者に対し能力開発講座など就労に向けた支援を行なっている。就労困難者には、直ちに就労を目指すことが困難な要因がある方もおられ、どのような支援を行うかが課題である。

**5 岩本の考え** 先般、生活保護に至る前段階からの支援、早期自立を目指し、生活困窮者自立支援法が成立しました。(27年4月施行)効果的な支援制度となるよう、準備する必要があります。また、フルタイムだけが目指す就労の形ではありません。豊中市では、求職者の特性と事業者ニーズを(交渉し)マッチングさせており、採用後も双方をサポートしています。本市も無料職業紹介所の設置で、傷病やニート状態・障害のある方など、フルタイム就労が困難な方にも、より寄り添った支援が行えます。段階的な支援・柔軟な求人は自立促進に効果的であり、無料職業紹介所の設置に取り組むべきです。

**生活保護ホットライン**

生活困窮者や不正受給について情報をお寄せ下さい。

受付 月曜～金曜 午前9時～午後5時半

専用ダイヤル 072-843-5979

hogotekisei@city.hirakata.osaka.jp

ファクス(072-843-5979)も対応。

**質問** 様々な方がおられ、ハローワークにコーディネーター等すべて任せるとは限界がある。さて、豊中市では無料職業紹介所を設置し実績を挙げている。枚方市も無料職業紹介を行い、支援してはどうか？

**答 弁** 地域就労支援センターでは、ハローワーク枚方と連携し、同行相談などをしている。多様な就労形態の提供について、訓練を含めた就労機会の開拓を含め、検討を行っていく。

**答 弁** 空き家の管理不良に伴う苦情や相談は、増加傾向。現在、「住み良い環境に関する条例」に基づき、所有者を調査、適正管理を文書で依頼している。関係部署が連携して取り組んできたが、更なる対応が必要となり、今後「空き家対策検討委員会」を設置。今後(立入調査、所有者に撤去・修繕命令など)実効性ある制度作り、条例化に向け取り組む。国では、法整備に向けた検討が行われている。

	H24	H25
雑草の繁茂・植木の越境等	48件	76件
外壁の落下の恐れ等	8件	16件

**11 岩本の考え** 全国的に空き家が増加しています。(枚方市では11.8%、約2万1千戸(平成20年)所有者の権利や管理責任など、複雑で困難な問題ですが、手をこまねいているわけにはいきません。居住用家屋の特例措置への対応など、様々な角度から実効性のある対策が必要です。

## しんぶん赤旗

### 庁舎内における・平成26年6月議会 勧誘・配布・販売について

**質問** 鎌倉市や伊丹市、福岡県行橋市などの自治体で、市庁舎内で政党機関紙「しんぶん赤旗」の配布・販売が行われているとの新聞報道があった。枚方市の庁舎内においても同様の実態があるのか？あるならば詳細を調査すべきではないか？

**答 弁** 配布・集金について、(本庁以外の庁舎も含め)複数の職場において確認している。勧誘については把握なし。個別詳細は把握していない。購読は、職員個人の意思によるものと考えており、購読状況等についての調査は予定していない。

**12 岩本の考え** 報道では、「断るわけにはいかないと考えた」、「多くの職員が、副主幹昇任時に、市庁舎内で(議員から)購読の勧誘」など、他市の実態が紹介されています。本市でも、市議会議員が関与し「しんぶん赤旗」販売が庁内で行われていることが一部で確認されています。公務に支障ないか、庁舎管理規則上問題ないか、正確な判断のためにも詳細な実態を把握すべきです。

議会では他の項目についても質問しています

- 災害時の位置情報共有 大規模災害時の正確な位置情報が分かる仕組みについて。
- 留守家庭児童会室の学年拡大 5年生・6年生への対象学年の拡大について。
- 保育園の待機児童解消 兄弟姉妹が別々の保育所に入所「きょうだい入所」の解消。
- 離職防止と採用支援で保育士不足の解消を図れメンタルケア充実・インターン受入。
- 総合文化施設のコンパクト化 施設整備108億円は巨額。財政を考えると、シンプルな整備を。

会派を代表し、枚方市の市政運営方針について、代表質問をしました。

中核市移行による教育の充実	中学校給食の実施	待機児童ゼロへの取り組み	体系的な健康増進の取り組み
子ども医療費助成制度の拡充	病児保育の充実	いじめ、体罰への対応強化	枚方市駅周辺の再整備ビジョン
戦略的な視点に立った都市経営	人口減少を見据えた総合計画策定	総人件費の適正化	不祥事撲滅への取り組み

(項目は抜粋。詳細はWEB等をご確認ください)